

日々明朗 日々努力

飯豊町立
飯豊中学校「職員室通信」
令和 3年11月4日 No.9
教頭 新野幸博

○ 2週連続の修学旅行をやり遂げる(文化祭の成果を価値付け、次のステップへの指針を)

(1) 体調管理と新型コロナ感染症予防の徹底

全国的に感染者数が減少し、これまでの自粛ムードが緩やかになっています。とても嬉しいことですが、本校は「修学旅行を実施する」ために最大限の手立てをとってきました。全校生とともに、配慮を伴った生活を続けます。

(2) 修学旅行実施に係るガイドライン、県内レベル2時の対応の熟知と複数確認を

「根拠を添えて」判断や回答をすることが大事です。教務黒板、学校HPにはそのための資料があります。必ず資料を見て、複数で確認をしましょう。



(3) 「何のため」を忘れない

延期続きで、たいへんな苦労は伴いましたが、学年主任が中心となって多くの声を聞き、みんなで確認しながら実施する修学旅行です。行程・ルール・やり方・班編成・引率メンバー…すべてに理由があります。共有すべき内容に不安があれば、出発前に再確認しましょう。主役は生徒。ねらいを常に意識。



中尾繁樹教授から

～ 飯豊中生の実態を踏まえた授業づくりポイント ～

※ 一部教頭の解釈・補足あり

◎ 学習課題をいかに「自分事」としてとらえられるか

- マスクをした「教師の声」は意識しないと届きにくい
 - ・ 声の強弱、リズム・テンポがある授業が何より大事。
 - ・ 生徒の目を見て話すことでその生徒の覚醒があがる。目が行き届きにくい両サイドは特に意識したい。
- (生徒自身が)自分を前に出せる時間を設定 ～「動き」のある授業～
- 能動的な学びにノートテイクは重要 ～ノートテイク力の育成を意識した「板書」～
 - ・ 課題からまとめまで、「思考の流れ」がわかる。
 - ・ 重要なポイントがわかる。

